

第2回 瑞穂町自立支援協議会会議録
(要点筆記)

日程：令和6年3月21日（木）

時間：午後3時から午後4時まで

場所：瑞穂町役場 2-1会議室

出席者：杉浦会長、戸村副会長、池谷委員、高津委員、谷口委員、田中委員、
吉岡委員 計7名

欠席者：隅河内委員、堀之内委員、西出委員、神委員、宮岡委員、類家委員、
石藏委員 計7名

事務局：若松係長、田口、澤辺

- 議題 1 各部会からの報告について
2 その他

配布資料

- ①会議次第（A4 1枚）
- ②瑞穂町自立支援協議会委員名簿（A4 1枚）
- ③相談支援事業所比較表（A3 1枚）
- ④町内事業所マップ（A3 2枚）
- ⑤令和5年度 特別支援教室・特別支援学級
在籍校別児童・生徒数一覧（A4 1枚）（田中統括指導主事提供）
- ⑥瑞穂町障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画
（概要版）（A4 ホチキス留め）

開会

事務局・課長挨拶

1 議題

1 各部会からの報告について（資料③④⑤）

生活部会について

- ・各事業所の現状と課題について、ヘルパーの不足の課題、相談支援事業所が少ない、各種障害福祉サービス施設が少ない課題が続いている。
- ・事業所マップの改変について報告。
- ・特別支援教育について、令和6年度から自閉症・情緒障がい特別支援学級設置となるため、一人ひとりの実態に応じた指導を行うことができるようになる。
- ・個別避難計画について、庁内部署間の調整が今後も必要である。

就労支援部会について

- ・就労支援センターの登録者数について、2月末162名登録（精神・知的・身体・難病）
- ・庁内実習について、庁用車の洗車を3日間実施。男女1名ずつ。実習生の振り返りで「やりがいがあった」という意見があった。

質疑・その他意見

来年度、基幹相談支援センターが開設されることで、相談事業の中核的存在になる。人材育成にも期待している。また、自立支援協議会において基幹相談支援センターについての説明の場があると良い。

事務局

来年度の前半で調整し、10月に開設予定のため9月頃に説明の場が作れる可能性がある。地域資源が限られている中で、町で何ができるか、既に町外の事業所を利用している方が多数、集約することも大変ではある。3年後の計画策定までに優先順位をたてられると良いと考えている。

質疑・その他意見

町では現在自立支援協議会の部会が二つあるが、その他にニーズの把握に特化し、事例検討も行う「相談支援部会」を立ち上げることはどうか。

事務局

他の町村は相談部会がある所とない所どちらもある。次年度以降の自立支援協議会で検討させていただきたい。

質疑・その他意見

基幹相談支援センターの開設はありがたいが、伺う方法以外ないのか。また、災害時の避難所は障がい者への配慮はされているのか。

事務局

職員がご自宅に訪問することも可能。避難所については、避難訓練等に積極的に参加していただき、どのような配慮が必要なのか意見を伝えて欲しい。

質疑・その他意見

発達障がいのある方は、少しの変化でも適応できなくなってしまう。緊急に対応できるよう事前に対策が必要と考える。

質疑・その他意見

障がい者就労について、町内の企業へ委託を進めている。法定雇用率も企業増えてきているが、本人に適した環境が整っていない場合もあるので、環境整備が必要。

2 その他

事務局

- ・ 障害者計画について、概要版（案）の配布。

アンケート調査を実施し、回収率は49.3%。令和8年度までに基幹相談支援センターの設置について記載をし、町の実情と合わないものに関しては検討していく記載とした。